

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら東中野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	2	3	1	小学生が3人同時に訓練室にいるときは狭い 小部屋を順番に活用できる時はしている 屋外活動を行う事もある
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		引き続き人材育成を行い、全スタッフの負荷のバランスを均等にしてい
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にな されているか	3	2	1	構造上仕方がない部分はある 玄関は改修工事により広くなり改善された 出入口や手洗い場、トイレに段差や階段がある
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画し ているか	6			出勤者全員によるケース会議・打ち合わせを実施している 事務室内にスケジュールを掲示し振り廻れるようにしている
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を 実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている か	5	1		出た意見を職員内で共有し、改善できる部分は改善している(スタッフの資格の掲 示など)
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で 公開しているか	6			ホームページ上で公表している
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善に つなげているか		2	4	外部評価は実施していない
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	5	1		全スタジオでの研修他、療育内容に関する研修を随時行っている 実施はあるがより多くの機会を確保したい
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を 客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成し ているか	6			半年に一度そらアセスメントを実施。その際出来る限り複数スタッフでとり客観的 に観察している ヒアリング面談を実施し内容を踏まえてケース会議を実施している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセ メントツールを使用しているか	3	2	1	そらアセスメントを実施している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		終礼などで共有 支援計画と照らし合わせ方向性が変わらないようにチームで確認修正している 個別は個人の立案がメインだが必要に応じスタッフ間で相談している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			アイデアを相談している 固定担当制ではなく全スタッフで割り振っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定し て支援しているか	1	4	1	日程や時期による課題の大幅な変更はない 長期休みなどで日数が増えた場合は対応している 課題は同じだが疲れ具合など子どもの状況の配慮には努めている 長期休みにイベントを実施することあり
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合 わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			必要に応じて特別クラスの提案等を行っている。また集団での課題を個別時に 補っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行わ れる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			前回や最近の様子を基に朝礼・昼礼の時間を必ず設けている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行 われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している か	6			課題や出来るようになったことを終礼でしっかりと共有できている 共有漏れの内容に互いに声掛けをしている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検 証・改善につなげているか	6			子どもの課題や成長が分かりやすいような記録となるよう努めている 記入後に記録のチェックを行い、漏れや修正点の確認を行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の 見直しの必要性を判断しているか	6			半年に一度実施。複数人で内容の確認も実施 必要に応じて早期見直しもしている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を 行っているか	5	1		運動の需要が高い方に関しては運動の技能面のみになっている場合もある

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		担当者会議が少ないが、電話で対応している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時対応、トラブル対応）を適切に行っているか	3	1	2	HPや保護者様から聞き一方的に確認はしているが、共有はない全ての把握は行っていないが必要な情報は保護者の方を通じて確認している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	3	対象児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	1	就学後に前の事業所に聞くことはほぼなし保護者からの要望があれば対応している
	24	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		4	2	移行まで支援継続している対象児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	1	モニタリングや中野区SVの巡回はあるが、機会は少ないコロナウイルス流行の影響でなかったため、オンラインなどがあれば参加できると良い
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	機会なし 外活動で場面があった際には適切な対応を促すようにしている
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		3	3	協議会等の実施状況不明
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			毎回のフィードバック時や半年に一度のヒアリング面談、支援計画面談で実施
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	3	1	2	実施無し。必要に応じて実施する 全員ではないが保護者の方の悩みを聞くことは行っている
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	6			入会時に説明し、待合室に掲示 入会後どの程度理解されているかは未確認。周知を徹底する
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		ヒアリング面談は定期的に実施しているが、相談自体が少なく助言にはつながっていない 相談しやすいような環境や関係性を築いていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	開催なし。必要に応じて実施する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			申し入れがあった際にははすぐ対応出来るように割り振り等を調整し反映している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			月に1回さら通信を発行している その他スタッフからのお知らせ等メール連絡の他待合室に掲示している
	35	個人情報に十分注意しているか	6			職員間でも注意を払っている
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			保護者に対してはフィードバック時以外にも積極的に話かけたりコミュニケーションを取っている 担当のお子様ではなくても活動前後にコミュニケーションを取り、その内容を職員共有している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4	スタジオ単位での実施無し。必要に応じて実施する
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			職員へは研修で実施。保護者に対しては待合室にマニュアルを設置している待合室に置いてあることなど、保護者への周知を徹底して行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6			本年はコロナウイルス流行のため例年通りの実施ではないが、年に2回行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年2回研修を実施 日々身体拘束の必要性や適切な補助をしているか確認し合っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども、保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	6			個人個人に対して必要性の有無を日々確認し、必要な際は適切な手順を踏めている
	42	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか		3	3	原則食物の取り扱いなし 今年度はイベントでも取り扱いなし（イベントで扱う際は保護者に確認している） そのため指示書なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			日々の終礼や月一回のヒヤリハット報告で共有し、改善策を話し合っている

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。